

# 北海道における 地図の特性



～土地の諸問題解決を考える～

私たち土地家屋調査士が土地の境界を測量するにあたり、重要な資料となる地図（公図）。北海道の開拓時代から現在に至る地図作成の変革や特性を知ることは、より幅広い見地から高度な地図作成に役立つものと考えます。

また、筆界問題に関連して表題部所有者の名義が変則的である場合など、それが被災地の復興を妨げていたり、まちづくりの障害になっていたりします。

今回はこのような諸問題も交え、個性豊かな日本の土地の諸相に迫りたいと考えます。

平成27年 **2.19** [木] 13:00～17:00

ホテルライフオート札幌

札幌市中央区南10条西1丁目  
TEL:011-521-5211

第1部 13:15～14:45

「北海道における地図の特性  
～区画線を中心に」

札幌法務局 地図整備・筆界特定室 室長

乙川 信次 様

第2部 15:00～16:30

「さまざまな土地の肖像  
～表示に関する登記の役割」

早稲田大学 教授

山野目 章夫 様

◎主催／日本土地家屋調査士会連合会北海道ブロック協議会(札幌土地家屋調査士会、函館土地家屋調査士会、旭川土地家屋調査士会、釧路土地家屋調査士会)  
◎協賛／北海道ブロック公共嘱託登記土地家屋調査士協会連絡協議会(北公連)  
◎後援／札幌法務局、北海道、札幌市、日本土地家屋調査士会連合会、公益社団法人札幌公共嘱託登記土地家屋調査士協会

お問い合わせ先

札幌土地家屋調査士会

札幌市中央区南4条西6丁目8番地 晴ればれビル8階  
E-mail/sta001@mb.snowman.ne.jp

Tel:011-271-4593



ひととちみらい はもにー

